

平成20年10月29日

各位

上場会社名 アイティメディア株式会社  
 代表者 代表取締役社長 大槻 利樹  
 (コード番号 2148)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 工藤 靖  
 (TEL 03-5293-2612)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年4月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円未満切捨て)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,772	210	225	130	2,062.94
今回発表予想(B)	1,634	133	148	86	1,363.20
増減額(B-A)	△137	△76	△76	△43	――
増減率(%)	△7.7	△36.3	△33.8	△33.4	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	1,593	206	213	103	3,358.85

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,876	610	630	365	5,792.09
今回発表予想(B)	3,383	259	280	163	2,562.17
増減額(B-A)	△493	△351	△350	△202	――
増減率(%)	△12.7	△57.5	△55.6	△55.3	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	3,430	575	602	328	5,296.89

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,772	210	225	130	2,062.94
今回発表予想(B)	1,634	133	148	86	1,363.72
増減額(B-A)	△137	△76	△76	△43	――
増減率(%)	△7.7	△36.3	△33.8	△33.4	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	1,593	206	213	103	3,359.93

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,876	610	630	365	5,792.09
今回発表予想(B)	3,368	327	348	202	3,175.20
増減額(B-A)	△508	△283	△282	△163	――
増減率(%)	△13.1	△46.4	△44.8	△44.7	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	3,430	575	602	328	5,297.88

## 修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、国内景気の減速感が強まる中、一部の業種によっては、企業業績悪化による広告出稿意欲の低下も見られる等市場環境は厳しい局面に入りつつあります。当社グループの顧客においても、案件規模の縮小や発注の先送り等広告出稿を抑制するケースが増加しております。

このような状況の下、当社グループでは、オンライン・メディア企業として新ジャンルのコンテンツ強化等顧客サービスの強化や営業体制の見直しに積極的に取り組んでまいりましたが、連結個別業績ともに、売上高が当初の予想を下回る見通しです。加えて、当社グループにおけるコストの多くは人件費、事務所賃借料およびサーバー等のシステム関連の維持管理費が大部分を占めており、それらのほとんどが固定費となっております。

よって、売上高の減少がほぼ、営業利益、経常利益および四半期(当期)純利益にそれぞれ反映される構造となっております。営業利益については、売上原価および販売費及び一般管理費の削減等に努めてまいりましたが、人件費や賃料、システム関連費用の増加要因もあり、売上高の減少を吸収するには至らず、当初の予想を下回り減益となる見通しとなりました。

通期個別業績予想につきましても、当第2四半期累計期間までの厳しい市場環境が今後も続くことが見込まれることから、売上高が当初

の予想を下回る見通しです。また、コストについては、売上原価および販売費及び一般管理費の削減等に努めてまいりますが、その多くは固定費であるため、売上高の減少は営業利益、経常利益および四半期(当期)純利益にそのまま影響することとなります。

また、通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間に取得いたしましたzoom株式会社(注)の先行投資分を取り込むため、一時的に減益幅が拡大する見通しです。

以上のことを踏まえまして上記のとおり修正いたします。

(注)この資料に記載している売上高および利益の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しています。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上